

フレア溶接継ぎ手の引張試験について

2019年10月1日

(地独)青森県産業技術センター八戸工業研究所

フレア溶接継ぎ手の試験片は以下のように製作してください。

- 共通事項
～D22 フレア溶接部を中心として上下につかみ部(装置への取り付け部)を設ける。試験片の全長は900mm以下とする。
試験片の加工(下記写真のような)は必要ありません。
つかみ部の長さはそれぞれ250mm～300mmとする。
つかみ部が短いと溶接部から破断する恐れがあります。
また、試験装置にひずみがかかり故障の原因になりますので試験できません
- D25～D35 **試験片の加工(下記写真のような)が必要です。**
つかみ部の長さはそれぞれ250～300mmとし、つかみ部が同一直線上の位置になるように加工する
同一直線上になった平行部の長さは100～120mmとする(下記写真参照)
同一直線上になるように加工されていない試験片は試験装置に過度にひずみがかかるため試験できません。
- D38 以上 **試験できません**

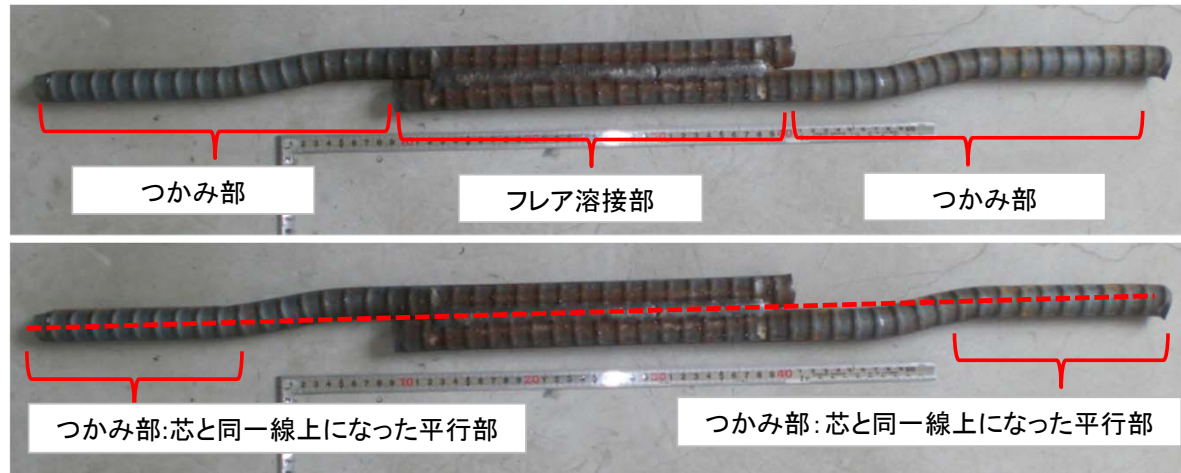


写真 D25以上試験片作成方法

依頼手続き

八戸工業研究所様式の依頼試験等申込書に必要事項を記入の上、試験手数料(現金*請求書払いも可能)とともに八戸工業研究所に提出してください。

* 現金払いの場合は事務手続きのため事前に連絡をお願いします。また、おつりの準備はございませんのでおつりのないようお支払いください。

成績書は受付から1～2週間後に当所で発行・配布になります。成績書の返送を希望される方は切手を貼った返信用封筒を申込み時にご用意ください。

試験手数料

～D29 1,900円/本 D32～ 2,900円/本 (*降伏強度・伸び・絞りその他特別な試験を行うものは1,050円/本 加算となります。)

* なお、八戸工業研究所では試験片の加工は行っておりません

また、圧接異形棒鋼や機械継ぎ手などの直線の棒状(ストレートな)試験片はD38まで試験可能です。

試験期間は受付後1～2週間程度を見込んでください。

マクロ試験について

(地独)青森県産業技術センター八戸工業研究所

2019年10月1日

溶接マクロ試験片は以下のように制作してください

- ・マクロ試験片は高さ20-25mm、縦/横50mm程度の試験片に切断して、観察面を指定してください。
- ・研磨は手作業でおこないますので、作業できる大きさに制約があります。大型の試験片の場合は事前にご相談ください。
- ・試験片を切断する場合、試験片に熱がかかると観察面が熱影響を受け正しい観察ができません。切断は湿式切断機やワイヤーカット等で水冷しながら加工してください。ガス切断や乾式切断した試験片はマクロ観察できませんので絶対行わないでください。
なお、切断加工がおこなえない場合はご相談ください。
- ・試験期間は受付後1～2週間を見込んでください。

依頼手続き

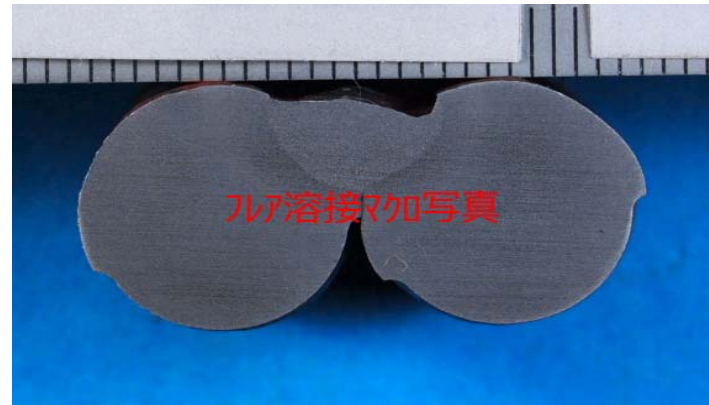
八戸工業研究所様式の依頼試験等申込書に必要事項を記入の上、試験手数料(現金*請求書払いも可能)とともに八戸工業研究所に提出してください。

* 現金払いの場合は事務手続きのため事前に連絡をお願いします。また、おつりの準備はございませんのでおつりのないようお支払いください。

成績書は受付から1～2週間後に当所で発行・配布になります。成績書の返送を希望される方は切手を貼った返信用封筒を申込み時にご用意ください。

試験手数料

マクロ試験 4,450円/個 写真が必要な場合は210円/枚(成績書が必要な場合)



マクロ写真 (例)